

変更の目的

燃料取出し装置のフックは、シリンダの上下動により開閉するが、現状のフック形状ではフックが完全に開いたこと(または閉じたこと)を検知するシリンダの範囲は0.5mmである。これに対し、変更後の形状とした場合には、この範囲が3mmとなり、検知スイッチの交換時に行う位置調整作業に要する時間を短縮できる。

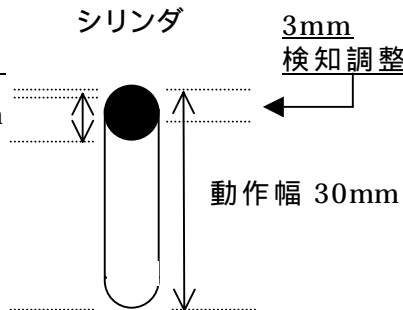
フックを開く場合の例

<変更前>

0.5mm
検知調整範囲
動作幅 7mm

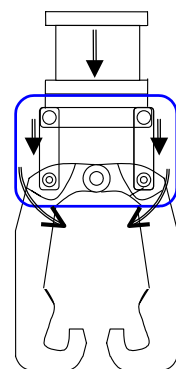
<変更後>

3mm
検知調整範囲



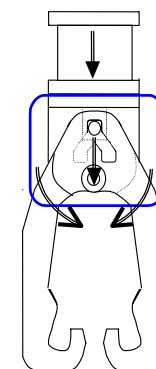
フックの形状

<変更前>



リンク部分が上下し、フックが作動

<変更後>



カム部分が上下し、フックが作動